



ところを知る、未来を考える

—— ダイアログBAR in 京都大学こころの未来研究センター ——

第一回 9月5日(木)

「つながりから価値を生む」

京都大学こころの未来研究センター 准教授 内田由紀子
株式会社ウエダ本社 代表取締役社長 岡村充泰
NPO法人ミラック 代表理事 西村勇也

時間：18：30～21：00

場所：京都大学こころの未来研究センター

第二回 10月3日(木)

「グローバルとローカルの融合」

株式会社坂ノ途中 代表取締役 小野邦彦
京都信用金庫 専務理事 柳田隆之
関西大学 社会学部 社会システムデザイン専攻 教授 草郷孝好

参加費：学生(京都大学 学部生、院生、ボスドク) 500円

一般(京都大学 職員、教員) 2,000円

その他一般(企業、自治体、NPO、大学などにお勤めの方、経営者、デザイナー、フリーランスなど) 2,000円

第三回 11月28日(木)

「伝統産業の新しい形」

株式会社和える 代表取締役 矢島里佳
株式会社細尾 代表取締役社長 細尾真生
京都大学こころの未来研究センター 准教授 内田由紀子

主催：京都大学こころの未来研究センター 共催：NPO 法人ミラック、株式会社ウエダ本社 後援：京都経済同友会(予定)、京都産業21(予定)

「こころを知る、未来を考える」
ダイアログ BAR in 京都大学こころの未来センター
第3回テーマ ～伝統産業の新しい形～

こころの未来研究センターでは学問の世界にあらたな「つながり」を導入することで生まれるアイデアの共創と、開かれた議論の場を持つべく、NPO 法人ミラツク法人と共催し、実践と研究が交差する時間を設ける3回のシリーズを企画しています。

第3回は、「伝統産業の新しい形」をテーマに、株式会社細尾の細尾真生氏、株式会社和えるの矢島里佳氏、京都大学こころの未来研究センターの内田由紀子准教授の3人が登壇します。

第1回・第2回と同様、会の後半には会場からの研究内容や関心をもとにした小グループでのディスカッションを行います。実践と研究が交わり合う場に、ふるってご参加ください。学部生の参加も歓迎いたします。

主催：京都大学こころの未来研究センター
共催：NPO 法人ミラツク法人、株式会社ウエダ本社
後援：京都経済同友会、京都産業 21

【開催概要】

日時：11月28日(木) 18:30～21:00(18:20 開場)
会場：京都大学稲盛財団記念館 3F大会議室
(アクセス) <http://kokoro.kyoto-u.ac.jp/jp/about/access.html>

【参加費】

京都大学／学生(学部生、院生、ポスドク) 500円
京都大学／一般(京都大学 職員、教員) 2000円
その他／一般(企業、自治体、NPO、大学などにお勤めの方、
経営者、デザイナー、フリーランスなど) 2000円
※今回の企画は、学生の参加者は京都大学生に限ります ※定員：40名

お申込みはウェブサイトから：<http://bit.ly/16K4TPF>

連絡先：info@emerging-future.org

【内容】

前半：3名のゲストによるセッション
後半：参加者主体でトピックを持ちよるダイアログ(小グループディスカッション形式)

第3回登壇者の紹介

○細尾 真生(ほそお まさお)

株式会社細尾 代表取締役 <http://www.hosoo.co.jp/>

1953年京都市生まれ。75年同志社大学経済学部卒業後、伊藤忠商事(株)入社。78年イタリア・ミラノのノートンズ社出向。82年帰国後(株)細尾入社。2000年より代表取締役社長。「伝統産業をクリエイティブ産業としてグローバルに展開する」をビジョンにし、2006年より西陣織広幅織物の海外展開を本格的に行っている。

2007年より同志社大学ビジネススクールにて講師を務める。2013年一般社団法人京都経済同友会副代表幹事に就任。

○矢島 里佳(やじま りか)

株式会社和える 代表取締役 <http://a-eru.co.jp/>

職人の技術と地方の魅力に魅かれ、19歳の頃から日本の伝統文化・産業の情報発信の仕事をはじめ。「21世紀の子どもたちに、日本の伝統をつなげたい」という思いから、2011年、慶応義塾大学卒業と同時に株式会社和えるを設立。

幼少期から職人の手仕事に触れられる環境を創出するべく、子どもたちの日常品を日本全国の職人と共につくる"0歳から6歳の伝統ブランドaeru"を立ち上げる。また、職人の技術を用いたオリジナル商品・イベント企画・講演会やセミナー講師、書籍出版など、和のコンサルジュとして幅広く活躍している。

○内田 由紀子(うちだ ゆきこ)

京都大学こころの未来研究センター 准教授 <http://kokoro.kyoto-u.ac.jp/>

1975年兵庫県宝塚市生まれ。京都大学教育学部卒業、京都大学大学院人間・環境学研究科修了。博士(人間・環境学)。アメリカ・ミシガン大学、スタンフォード大学での客員研究員などを経て、現在京都大学こころの未来研究センター准教授。専門は社会心理学・文化心理学で、幸福感や対人関係の比較文化研究を行っている。2013年3月まで、内閣府・幸福度に関する研究会の委員なども務めた。

主な著書に「農をつなぐ仕事」(創森社)、「ひきこもり考」(創元社)など。最近の関心事は「つながりや適応のあり方の文化的特徴」など。